

みんなの文芸



俳句

ことぶき俳句会

青空にするする新芽五葉松
 エコパーク丹頂鶴の雛育つ
 笹山にとんび真すぐに突きささる
 ちぐはぐな姑のことばや春長き
 寒いわね交わす言葉や五分桜
 さくら咲く悠々会の肉を焼く
 ひとり居の黄色い小鳥と春を待つ
 浜の男の塩から声や春電話
 携帯の鳴るポケットやああこぶし

稲田 文江
 大山さよ子
 大山みどり
 越坂 順子
 橋本 葉子
 福原 仁子
 松尾枝実子
 渡邊 道
 高橋 悦子

川柳

浦幌川柳会

絵手紙に丸だけ書いて出しに行き
 締切があつて左脳の錆おとす
 饒舌な風呂敷だんだん縦結び
 すでに死語赤い夕日は満州です
 目覚むれば光の中に世を思う
 気どらずにこれで良いのさ我が人生

加藤 未貴
 山村 幹雄
 阿部 麗紅
 柴田 弘子
 星 愛子
 橋本 葉子

川柳

上浦幌句の会

被災地へ夫を送つて十勝入り
 被災地の爪あとと戦後と重なりて
 なき夫に一声掛けて猫柳
 春浅し急ぎし義兄は雲に乗る
 福寿草我家の庭に春の使者
 雲間から顔出しほほえむ福寿草

芳川 乙美
 朝日ヒロエ
 笹島カヨ子
 河村みよ子
 大西 功
 山田エツ子

短歌

心友愛会

芝桜庭を色どり初夏の風
 今日も元気に自転車こいで
 久しぶり仲間の笑顔に会いたくて
 心とみに出かけてみます
 悩み多き事ばかりあり日々おくる
 晴れ間がほしい夢を叶えて
 例会でカラオケ歌い声かすれ
 得意の曲が唄えなく寂しい
 今もなお地震災害とどまらず
 使者への思い心に深い
 久しぶり三人仲間でお話はずむ
 ラーメン食べてお話はずむ
 辛い事乗り越えるわ何時のこと
 心の癒し見守る身にも
 想い出し一人笑いに気がつけば
 あきれ顔した貴方の写真
 雨続き散歩いけず家のなか
 愛用のリュックも部屋の片隅
 子供らが米寿祝いに集まりて
 十勝川にてくつろぐ親子
 毎日が仕事追われ時過ぎる
 仲間に会えぬ辛さ堪えて
 里の庭亡き兄忍び咲く花は
 残り香を乗せて初夏の風あり

山岸 明美
 角田美代子
 山久保敬子
 富田さた子
 前川 静江
 小澤 つや
 堀井あやの
 長屋みよ子
 文屋 房子
 田代 千工
 浅野 京子
 星 愛子

編集後記

■表紙の写真は、厚内小学校で行われた鮭稚魚の放流です。児童が受精の時から大切に育てて来た稚魚を「お別れするのはさみしいけれど元気で戻ってきてね」と願いを込めながら、丁寧に厚内川へ放流しました。稚魚はこれから長い長い旅に出ます。オホーツク海、北太平洋、ベーリング海、アラスカ湾まで周遊。3〜4年で産卵のため、再び生まれ故郷の川へ戻って来るのです。忘れずに厚内川へ戻って来るといふから不思議ですよね。戻って来られる確率は100匹中、4匹とか…。自然界の厳しい荒波にもまれ、たくましく育った鮭たちとまたここで会えることを願います。私もおがんばろ。

■掲載された写真は、差し上げますので（本人または家族）、お気軽にご連絡ください。